

【前時の振り返り】

1 前回の学習したことを解こう。

- (1) 1872年，不平等条約の改正を目指して欧米を視察した使節団の全権大使は誰ですか。
- (2) 使節団が視察していたころ，武力で朝鮮に開国をせまる考えが広まりました。この考えを何と言いますか。
- (3) 使節団が帰国した後，政府は意見が対立し，2人の人物が政府を去りました。この2人とは誰ですか。

(1)
(2)
(3) _____

【今回の学習】

学習課題 政府を去った2人の人物が，その後の日本に与えた影響は何だろうか。

2 教科書170ページを読んで，2人の人物が行ったことをまとめた下の表を埋めてみよう。

2人の人物	出身地	政府を去った後に行ったこと
①	旧土佐藩 (高知県)	○1874年 ② _____ を政府に提出した。 ○その後，政治団体の③ _____ を結成した。
④	旧薩摩藩 (鹿児島県)	○明治維新により特権をうばわれ，生活に困窮していた士族の不満を背景に，1877年⑤ _____ を起こした。

西郷は武力で政府に立ち上がり，板垣は言論で政府に訴えたんだね。はたしてどちらの方が国を動かす力が強かったのかを考えよう。

3 自由民権運動について考えよう。

- (1) 民選議院設立の建白書について説明した文について，教科書170ページを読みながら，あてはまる語句を選んで書いてみよう。

板垣が提出した民選議院設立の建白書は，① _____ が政治に参加するための② _____ の設立を要求するものであった。これをきっかけに，全国各地で国民が③ _____ に参加する権利をもとめておこした活動を自由民権運動という。

語群
議会 政治
国民

- (2) 教科書171p [8] の絵を見てみよう。

- ① 演説を止めている人たちは誰でしょうか。
- ② 宙をとんでいるのは何でしょうか。
- ③ これを投げたのは誰でしょうか。
- ④ これらから，人々はどのような思いをもっていたのでしょうか。

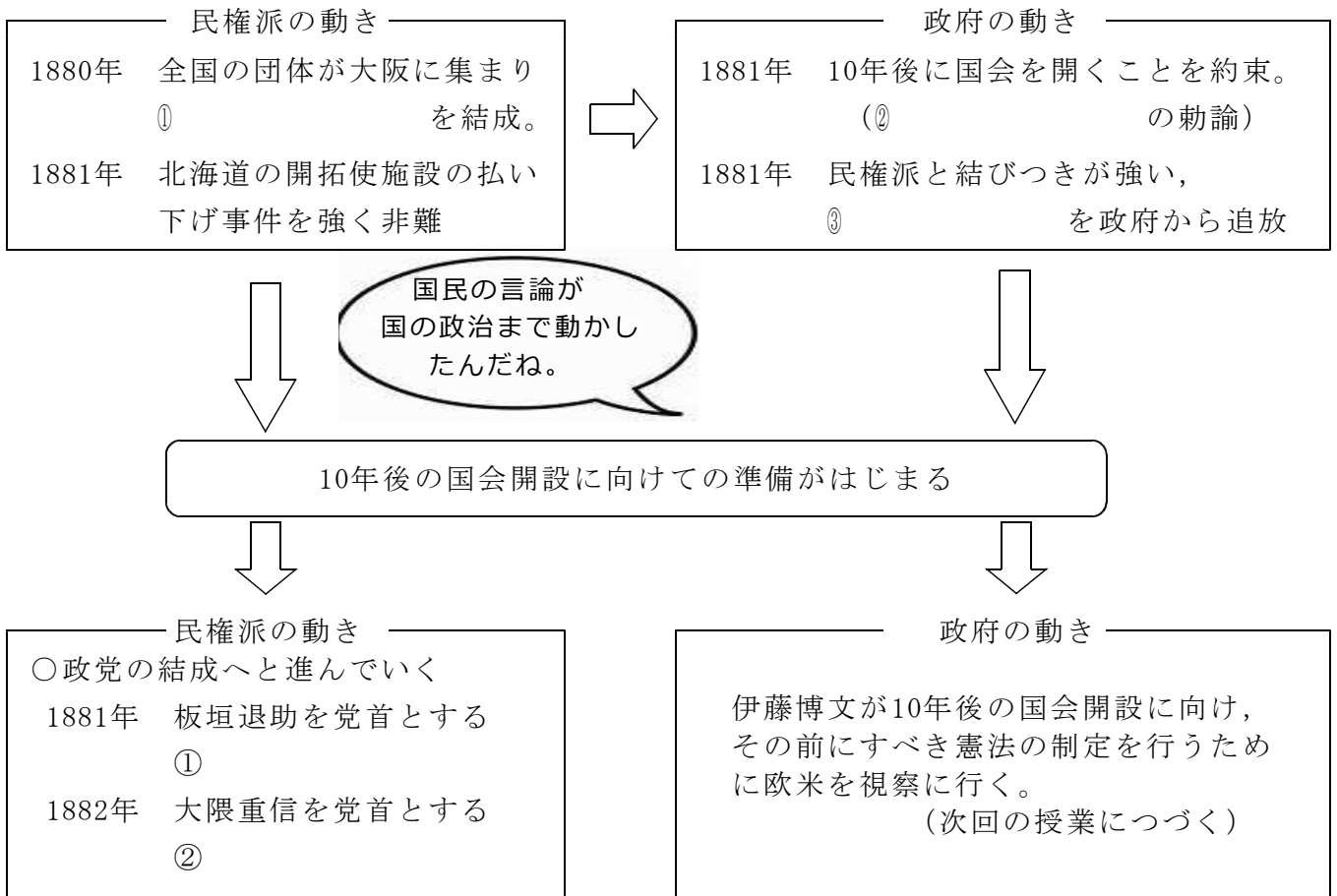
① _____

② _____

③ _____

④ _____

4 自由民権運動に対して、政府はどのような対応をしたのか教科書171ページから考えよう。



まとめ

<政府を去った2人の人物は、その後の国の政治にどのような影響を与えたのか？>

- 1 西郷も板垣も、元政府の人物でした。元政府の人物が政府に対して抵抗したことは、政府はどのように思うだろうか。考えを書いてみよう。
- 2 西郷は武力で、板垣は言論で政府に自分の考えを主張しました。どちらの考えが国を動かすことになっただろうか。
- 3 国民がおこした自由民権運動によって、国はどうなったのかまとめてみよう。

振り返り① 今回の学習で分かったこと、疑問に思ったことを書いてみよう。

振り返り② ワーク34ページ①をやろう